



Alcoholics  
Anonymous

こちらAA  
専門家の皆様へのニューズレター

〒100-8691 東京都中央郵便局 私書箱916

2005年  
No.16

AA日本常任理事会  
広報委員会

発行所 JSO AA日本ゼネラルサービスオフィス 〒171-0014東京都豊島区池袋4-17-10土屋ビル4F  
TEL(03)3590-5377 FAX(03)3590-5419

## A.A.30周年記念集会に向けて

～ 揺籃期から青年期へ：「回復、一体性、サービス」の源 ～

さいたま市大宮福祉事務所 井上 茂

日本A.A.の揺籃期、私の中でA.A.と施設が混在している時期でもあった。

「飲まないアルコール依存症者」との初めての出会い、アメリカ人M神父、日本人P神父、そしてM神父の誘いにより大宮に来た退院後行き場のなかった日本人アルコール依存症者、皆、A.A.メンバーだった。彼らの居住するメリノールレジデンス（通称：大宮ハウス）そこはM神父が提供する回復プログラムに包まれた彼らの生活の場（ハーフウェイハウス）であり、しばらくの間、A.A.の連絡先ともなっていた。

実体の見えないA.A.と目の前にある大宮ハウス、二つとも初めて聞く言葉であり、私の中では両者が渾然一体となっていた。

一度は目を通したことのあるA.A.のリーフレットや冊子が私の本箱の上段に並んでいる。A.A.家族会の実際活動（武庫川病院A.A.出版部：昭和43年1月刊行）という冊子もその中に挟まっている。茶色に変色したA.A.冊子やAI-Anonに関するガリ版刷りの冊子（訳：ピート田中）も久しぶりに目にする。何度となく読み返した文字、読んでも分かったような分からなかったような内容が懐かしい。

変色した本の匂いが遙か昔の出来事に記憶を戻そうとする、しかし、30年の月日は細かな出来事を記憶のヒダのなかに隠してしまっている。たしか、僅かなA.A.メンバーが原書を訳し印刷物を作っていた。その出来たてを譲り受け、A.A.の言葉に触れていった日々があった。かすれて読めぬガリ版文字に出くわすと、別刷りと見比べ、かすれた文字の上をなぞって書きこみ、文字をつなげて読んでいたこともあった、初めて触れる12ステップの文章、それに対して無知だから分からないからこそ機会ある度毎に読み返していた。手書きのガリ版刷り冊子はこれだけではなかったはずなのだが・・・

ある時期から、大宮ハウスのミーティング部屋の棚には幾種類ものA.A.冊子が整然と並んでいた。M神父の「好

きなものを持って行って読んで下さい。」との言葉に甘え、並び始めた冊子をその都度、福祉事務所に持ち帰り読んでいた。後で分かったことだが、冊子を管理していた人が棚卸の度に悩んでいたという、冊数が足りないのである。管理担当者に断りもせず、セッセと持ち帰っていた奴（私）がいたものだから。

A.A.ミーティング場が大宮ハウスや都内と合わせて10～20ヶ所位（？）であった時期、彼らは毎日、ミーティングに足を運んだ。国鉄（現JR）のストライキで電車が止まっても、風雨に荒れ、たとえ嵐になろうとも、利用できる交通手段を調べ都内のミーティング場に足を運んでいた。決してとどまらない、ミーティング場に向かって足を運ぶことが第一のことだった。正に足でプログラムを踏み、歩いて命をつないでいた。ミーティング場に行くこと、それが回復の道を歩み始めた人達の自分自身に対する「責任」であり仲間に対する「回復へのメッセージ、換言すれば最も簡素で重要なサービス」でもあった。

三角形を丸で囲んだA.A.のシンボルマークの底辺に位置し、全てを支える基盤となっている「回復」に各人のエネルギーを注いでいた揺籃期、12ステップを踏む行動こそが全てに優先することのようだった。

三角形の他の2辺である「一体性」と「サービス」も「回復」に続いて動き始めていた。A.A.グループが少しづつ広がりを見せていた頃、施設（三ノ輪マック）に構えていたサービスオフィスが施設から離れ、信濃町にA.A.サービスオフィス（JGS0）が開設された。

しばらくして、私の職場に電話が入った。「GSB（サービス常任理事会）を開くので「いついつ」にオフィスに来て下さい、GSBにはノンアルコールのトラスティ（A類理事）が必要なんです。」と、オフィスの番人（S.S）からの電話だった。前後して、別人（N.I）からも自宅にGSB立ち上げのことと、そこへの出席の依頼があった。

こうして、幾人かの自薦のA.A.メンバーと彼らに呼びかけられた数人のノンアルコールリストとで現在の常任委員会の前身であるGSBが始まった。正式な手続を踏めないで成立した機関であったが、以後、GSBはオフィス運営委員会、オフィス幹事会とその名称を変えながら、20周年の前夜、1993年に正式な公選制の理事会が発足するまで続いていた。

GSBでは、オフィスの運営をどうするのか、地方のグループにどのようにメッセージを運んだらよいのか、マスコミや関係機関との接触をどのようにしていくのか、伝統に書かれてあることの実践に向けて何をどのようにしたらよいのか、サービス機構をどのように構築していけるのか、等々、そんなことを話し合っていた。1982年1月からのことだった。なにもかもが、初めての経験、A.A.の文章に触れながら、12の伝統やサービス機構のこと、アメリカでのA.A.の活動なども学んでいった。

時間の経過とともに、名前は忘れたが、関東ではインターグループ会議とか、代議員集会とかグループどうしの連絡会（分かち合い）が始まり、A.A.はグループを中心とした共同体としての広がりを見せ、10周年記念大会を迎える頃には、それに合わせ初めての全国代議員集会が開催されるなど、三角形の3辺が揃うように成長していった。

いつの頃だったか、アルコール依存症者をミーティングに連れていった時、穏やかな微笑みを浮かべたA.A.メンバーが、新しい仲間を小さなハグ（Hug）で迎え入れていた。その態度は、「さあ、一緒に始めましょう」と語りかけているような姿だった。微笑みを投げかけながらA.A.のドアはいつでも開いている、私の記憶のヒダの深奥に刻み込まれているA.A.の印象、それは、こういった微笑みに彩られた心地よさなのかもしれない。

**A.A.30周年記念集会のドアも開いているのだらう、それも両手を広げながら。**

## A A 出版物のご案内

出版担当常任理事 高橋 y

皆様 この専門家向けニュースレター「こちらA A」をご愛読いただきありがとうございます。また、A Aの活動に温かい目を向けていただき感謝しております。

ここ数年、何点かの出版物がA Aの出版物リストに加えられ、さらに数点の新規発行を予定しております。そこで今回、さらにA Aへのご理解を深めていただきたく、主な出版物の紹介をさせていただきます。また、A A出版物カタログが必要な方は、ご遠慮なくお申し付けください。

皆様もご存じかと思いますがA Aのバイブルともいわれ、もっとも基本的な書籍である「アルコールクス・アノニマス」通称ビッグブックは2003年に改訂され、最近増加しているビッグブック・ミーティングでの使用、持ち運びの利便などを考慮しポケット版、文

庫版、カセットテープも発行しております。

日本のA Aで発行されている出版物は、アルコール依存症からの回復に必須といわれ、また他の自助グループ（12ステップグループ）でも利用されている「12のステップと12の伝統」をはじめとして、パンフレットなどを含めるとその数は60に及んでいます。

その全てをここで紹介することはできませんが、今年ソフトカバー版が発行された「アルコールクス・アノニマス成年に達する」を紹介させていただきたいと思えます。

個人的な話になりますが、私がA Aの先行く仲間から最初に勧められたのがこの「成年に達する」でした。当時はまだハードカバー版しかなかったので持ち歩くことはできませんでしたが、A Aに繋がり回復への歩みを始めたばかりの私にとって、A Aの草創期の話に目を開かれる思いでした。かなりボリュームのある書籍ですが一気に読んでしまったのです。その後、A Aの役割に就くにつれ、行き詰まったとき様々なヒントがこの書籍に隠されていることがわかり、A Aに繋がった当初とは異なる利用を現在ではさせてもらっています。

A Aの書籍がその時の自分に応じ新たな気付き、導きをもたらすことは何とも不思議なことです。

「今日を新たに」は366篇の短い仲間の話で構成され、毎朝出かける前にその日の一篇を読むことで清々しい気持ちと一日のやる気をいただいています。

また、日本のオリジナル出版物で日本のメンバーが回復の軌跡を綴った「回復への道」も4冊を数えるに至りました。メンバーがアルコールの問題で苦しみ、そして回復に至るまでの物語は決してドラマチックなものではありませんがメンバーだけでなく、多くの皆様に共感をしていただけると信じております。

他にも「ビルはこう思う」「信じるようになった」「A Aの伝統が生まれるまで」などなど個人的にも紹介したい出版物は多々ありますが、紙面の関係で出版物カタログをご覧くださいと思います。

今年新たに発行を予定しているものに「ドクター・ボブと素敵な仲間たち」があります。A Aの共同創始者の一人ドクター・ボブと草創期の仲間の話です。もう一人の共同創始者ビル・Wのことは米誌「タイム」で“20世紀を変えた100人”に選ばれるなど広く知られていますが、二人の出会いがなければ今日のA Aはなかったといっても過言ではないでしょう。

ドクター・ボブの伝記はその一部が他の書籍で紹介されていますが、この書籍ではまとめられて書かれています。

当初、9月の発行予定でしたが、11月頃にずれ込んで発行の予定です。今か今かと楽しみにされている方もいらっしゃると思いますが、今しばらくのご猶予をいただければ幸いですようお願いをかねてご案内させていただきます。

また、この書籍と対をなすビル・Wの伝記も数年中

に発行の予定ですが、なせ大部な書籍でもあり発行予定日は未定です。

最近のAAの出版事情を申し上げますと、新刊の書籍の他、既刊されているものも再版する時点で順次ISBNの取得をしております。また国会図書館への納本もさせていただいております。一般の書店でAAの書籍を購入することは日本の流通形態から言って困難ですが、可能な限り皆様はじめ多くの方々にAAのプログラムを知っていただきたく、出来ることからやっていきたいと思っております。

また、最近の活字離れという社会事情を勘案し今後の出版物の方向として、これまでの活字による出版物だけではなくビデオ、コミックなどよりビジュアル的な出版物、未翻訳の出版物もまだまだ多くありますが、日本の実情にあったオリジナル出版物の発行も模索しております。

昨年日本のAAもNPO法人として認証され、社会的な責任も増しております。法人化されたこととは別の問題ですが、消費税の課税対象となり来年2006年1月より一部の出版物に5%の上乗せをするやむなきに至りました。

周知のこととは思いますがAAは外部からの献金も、法人化されたからと言って補助金も一切受けずにメンバーからの献金だけで自立し、活動しています。金銭的な面から見ますと唯一例外的に出版物の頒布だけがAAが外部から対価をいただける窓口となっています。その出版物の頒布価格を一部とは言え値上げすることは心苦しい限りですが皆様のご理解をいただけますようお願い申し上げます。

皆様のご意見、ご要望をいただければ今後の方針に反映させるべく検討していきたいと考えております。ご意見などJSGOまで寄せていただければ幸いです。

最後になりましたが今後ともAAの活動にご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

## AA日本30周年記念集会プログラムハイライト

### 1日目

14時から始まる和太鼓は地元博多が誇る金獅子太鼓で、前奏曲としてこの集会を盛り上げてくれる。

博多金獅子太鼓とは、もともと獅子舞と共に「博多独楽」の地方(じがた:伴奏)として成り立っていたのが、こま同様、伝統ある太鼓を先代の寿楽が「博多金獅子太鼓」として独立させた。

先代寿楽が考案した現在の組太鼓は、二代目筑紫寿楽に受け継がれ、九州特有のスピード感あふれた改良し、更なる発展が遂げられている。

15時過ぎには元JSGO所長の山本さんが登場する。草創期より19年の間、日本のAAを優しく育ててくれ、大きな遺産を残してくれた。どんなお話が聞けるのだろうか、続いて地元福岡雁ノ巣病院の熊谷先生からご挨拶をいただく。

次に登場する全国からやって来たメンバーの分かち

合いも楽しみである。

いよいよオープニングミーティング、見所はフラッグセレモニー、各都道府県の代表が、参加各国の代表が一同に会し大きな壇上を埋めるはずだ。また、カウントダウンではソーバーの一番長いメンバーが最後に残り大きな拍手が贈られる。逆のカウントダウンも予定されている。一番新しいメンバーに祝福の拍手が贈られるだろう。

各国語一斉の平安の祈りで初日は終わる。

### 2日目

午前中は各種ミーティングである。それぞれの部屋は定員があるのでご注意を。

- 401 ヤングミーティング 「これからの夢」
- 402 女性ミーティング 「今日一日」
- 403 ビギナーズミーティング「BB(ビッグブック)と12のステップ」
- 404 英語ミーティング 「本来の目的」
- 405 韓国語ミーティング 「メンバーシップ」
- 406 Q & Aミーティング 「何でも聞いてみよう」
- 409 一般ミーティング 「惹き付ける魅力」

午後は13時からバープさん(東京・江戸川G)、チャコさん(東京・谷中G)の司会でオールドタイムズ・スピーカーズミーティングが予定されている。参加登録の際に20年以上のソーバーのメンバーは申し出ていただく。登録人数が多ければ抽選になるかも…短い時間ではあるがステキな経験の分かち合いが行われるだろう。

15時から国際シンポジウム「アジア文化圏におけるAAの経験と可能性」が信頼を寄せる友人のA類常任理事を中心に企画された。韓国、モンゴル、中国(予定)の代表から、ニューヨークGSO、アメリカ・カナダ常任理事会から、これまでの経験を踏まえた「希望」の分かち合いが行われるだろう。

18時からディナーパーティが多目的ホールで開かれる。申込(¥3000)はお早めに。

バイキングなのでゆっくりと慌てて美味しいものをゲットしよう。また、スピーカーズミーティングとして特別ゲストを用意した。日本の女性メンバー第1号のミキさんから当時の苦労話やこれからの希望の話がたっぷり聞けると思う。

そして各地から集まったエンターテイナーたちがその腕前?をみんなに披露してくれる。バンド演奏などお楽しみが盛り沢山。

いよいよあと1日、博多ラーメン、長浜ラーメンをいただきに名物の屋台へと参りますか…。

### 3日目

クロージングミーティングは「希望」のミーティングだ。スピーカーズミーティングと集まったメンバーからの一言メッセ-ジ…みんなで手を繋ぎ、次の機会の再会を期して平安の祈りを…

(4)

# AA日本30周年記念集会

プログラム

テーマ『希望』 / 福岡国際会議場

2005年9月2日(金)～4日(日)

9 / 2

1日目

10:00～	受付開始	エントランスホール(1F)
14:00～14:30	和太鼓	メインホール(3F)
14:30～18:00	序曲(北から南から) 司会挨拶～朗読<プレアンブル・1.2のステップ・1.2の伝統> ゼネラルサービスを支えた人々(常任理事・WSM評議員・JSO職員) AA日本の歩み(元JSO所長 山本幸枝) AAの友人より(福岡県・雁の巣病院院長代行 熊谷雅之先生) 全国七地域より(後期地域評議員・元評議員) 実行委員会からの挨拶～案内のお知らせ	メインホール(3F) 休憩:16:00～16:20
18:00～19:00	夕食(弁当)	
19:00～22:00	オープニング・ミーティング(同時通訳<英語>) 司会挨拶～朗読<プレアンブル等> 日本常任理事会より(常任理事会議長) アメリカ・カナダ常任理事会より(アメリカ・カナダ常任理事会) 韓国GSOより(韓国GSO) 海外代表挨拶(オーストラリア・ニュージーランド・モンゴル・中国) フラッグ行進(全国46都道府県代表・各国代表の入場) ソーパーカウントダウン 各国語の平安の祈り	メインホール(3F)

9 / 3

2日目

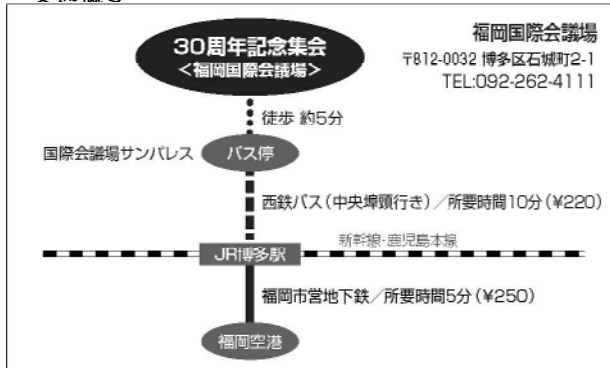
9:00	受付開始	エントランスホール(1F)
9:00～12:00	各種ミーティング( )内はルームナンバー 一般(409) 女性(402) ビギナーズ(403) 英語(404) 韓国語(405) ヤング(401) Q & A(406)	中会議室(4F)
12:00	昼食(弁当)	
13:00～14:30	JSO・常任理事会企画 <AAオールドタイマー・スピーカーズミーティング> 20年以上のロングソーパーのAAメンバーは壇上へ!	
15:00～18:00	<国際シンポジウム「アジア文化圏におけるAAの経験と可能性」> 日本の現・元A類常任理事(佐古恵利子、大河原昌夫、岡崎直人、田辺等) WSM・AOSM評議員(日本・韓国・モンゴル・中国・オーストラリア・ニュージーランド) アメリカ・カナダのGSOスタッフ・常任理事	休憩:14:30～15:00
18:00～21:00	ディナーパーティー(立食バイキング形式) 司会挨拶～朗読<序文> 30年の歴史をふまえて...(スピーカーズ・ミーティング) アトラクション<生バンド演奏、ダンス、コーラス 他> ディナーパーティーは別途申し込みが必要です	多目的ホール(2F)

9 / 4

3日目

8:00	受付開始	エントランスホール(1F)
9:00～12:00	クロージングミーティング(通訳<英語・ハングル>) 司会挨拶～序文朗読・閉会後のお知らせ 「テーマ:希望」(スピーカーズ・ミーティング) 会場全員の一言メッセージ 閉会の言葉 チェインハンド(全員が輪になって平安の祈り)	メインホール(3F)

## 交通概要



## 費用概要

ご宿泊に関しては各自で手配してください  
参加費:5,000円(3日間通し)  
ディナーパーティー:3,000円(要別途申込)

お問合せは・  
NPO法人AA日本ゼネラル・サービス(JSO)  
〒171-0014東京都豊島区池袋4-17-10土屋ビル4F  
TEL. 03-3590-5377 FAX. 03-3590-5419  
(月～金)10:00～18:00 / (土・日・祝)休  
ホームページ<http://www.aajapan.org> 電子メール[aa-jso@cam.hi-ho.ne.jp](mailto:aa-jso@cam.hi-ho.ne.jp)  
九州沖縄セントラルオフィス  
〒892-0803鹿児島市祇園之州12セジュール祇園之州203号  
TEL / FAX . 099-248-0057  
(月～金)10:00～18:00 / (土・日・祝)休  
電子メール [koco@po4.synapse.ne.jp](mailto:koco@po4.synapse.ne.jp)

JSOの業務時間 月～金、10時～18時

関係する機関などで、この「専門家の皆様へのニューズレター」が届いていない場合は、どうぞ送付先をご連絡下さい。

URL <http://www.aajapan.org/>

e-mail [aa-jso@cam.hi-ho.ne.jp](mailto:aa-jso@cam.hi-ho.ne.jp)